

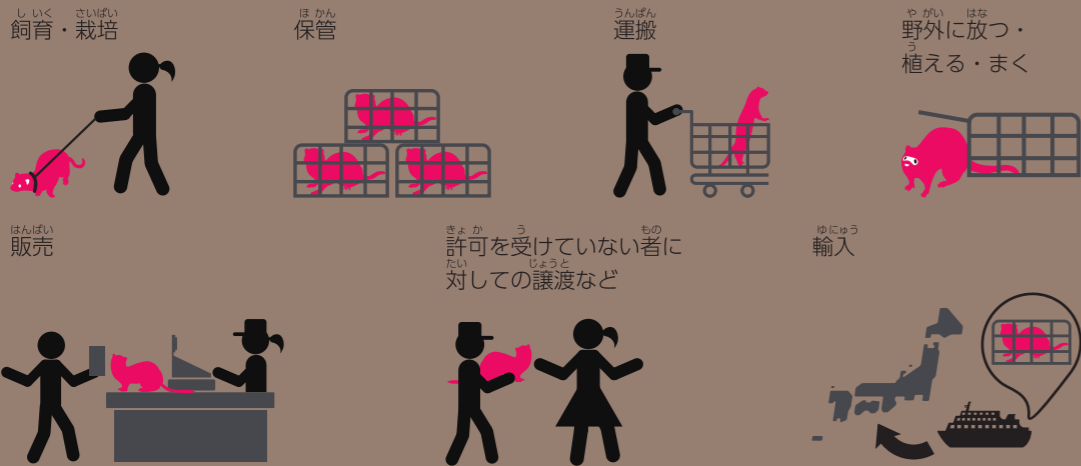
がいらいせいぶつほう 外来生物法とは

正式には「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」といいます。外来種による生態系、農林水産業、人の生命・身体への被害を防止するために制定されました。特定外来生物として指定された種は、飼育・栽培・保管・運搬・販売・輸入などが原則として禁止されています。また、原因となった行為をした者に対しては、防除に必要な費用の一部または全部を負担していただく場合もあります。

がいらいしゅ ひ がい よ ぼう さん げん そく 外来種被害予防三原則

- ① **入れ**ない わるい えいきやう およ がいらいしゅを むやみに 自然分布域から 非分布域へ 入れない
- ② **捨て**ない ペットとして 飼ったり 栽培している 外来種を 自然の中に 逃がさない、 放さない
- ③ **拡げ**ない 自然の なかに いる 外来種を ほかの 地域に 生きたまま 持ち出さない、 増やさない

がいらいせいぶつほう きせい しこう 外来生物法で規制される事項



※これらの項目に違反した場合、最高で個人の場合3年以下の懲役もしくは300万円以下の罰金、法人の場合1億円以下の罰金が科せられます。

がいらいせいぶつほう ぐわし かた
外来生物法について詳しく知りたい方は
<http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>



わ くに せいたいけい ひ がい およ がいらいしゅ
我が国の生態系に被害を及ぼすおそれのある外来種リスト
<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/iaslist.html>



がいらいしゅ ひ がい ぼう し こう どう けい かく
外来種被害防止行動計画
<http://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/actionplan.html>



環境省 那覇自然環境事務所 Tel.098-836-6400 Fax.098-836-6401
〒900-0022 沖縄県那覇市樋川1丁目15番15号 那覇第一地方合同庁舎1階



とく てい がいらいせいぶつ 特定外来生物

ツルヒヨドリ



あま み おき なわ ばん
奄美・沖縄版

き がつ け よう !! がいらいしゅ
まも せいぶつ た ようせい
守ろう !! 生物多様性

ツルヒヨドリは、南北アメリカの熱帯地域を原産地とするつる性の植物で、日本では1984年にうるま市の天願川河口付近で発見されました。

英語で「*Mile-a-minute weed*」(1分で1マイル広がる雑草)の異名を持ち、つるでからみつきながら猛烈な勢いで広がっていきます。

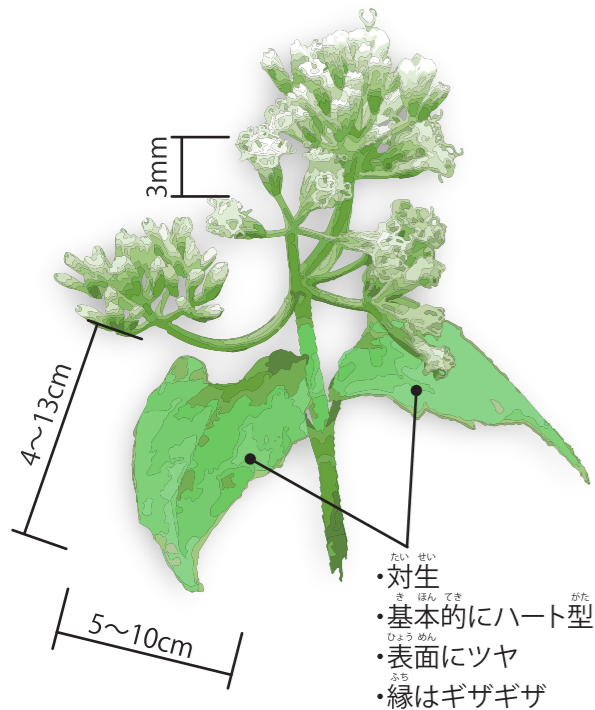
在来生態系だけでなく、農作物にも大きな被害を及ぼす可能性があり、発見したらすぐに防除することが必要です。

世界の侵略的外来種ワースト100にあげられています。

ツルヒヨドリはこんな植物



和名: ツルヒヨドリ
学名: *Mikania micrantha*
自然分布: 北アメリカ、南アメリカ熱帯地域



全体 つるで絡みつきながら葉を重ね、厚い藪を作り、マント状に覆いながら広がります。増える方法として、一番問題なのは綿毛をつけた種子ですが、引き抜いたり、折れた茎からでも増えることができます。

葉 葉の長さは4~13cm、幅5~10cm、表面はつやとしていて少し光沢があり、毛は生えていません。1か所から2枚の葉が出る対生です。基本的にはハート形ですが、少し伸びたり、角ばったり形は様々です。葉のふちは少しギザギザしています。

花 11~12月にかけて小さな白い花が集まって咲く集合花をつけます。一つの花の大きさは3mmほどで、1月には綿毛の付いた軽い種を多量につけます。

影響 ツルヒヨドリは他の植物を覆いながら生育するため、その下に生育する植物に光が当たらなくなり、元々あった植物は枯れてしまいます。

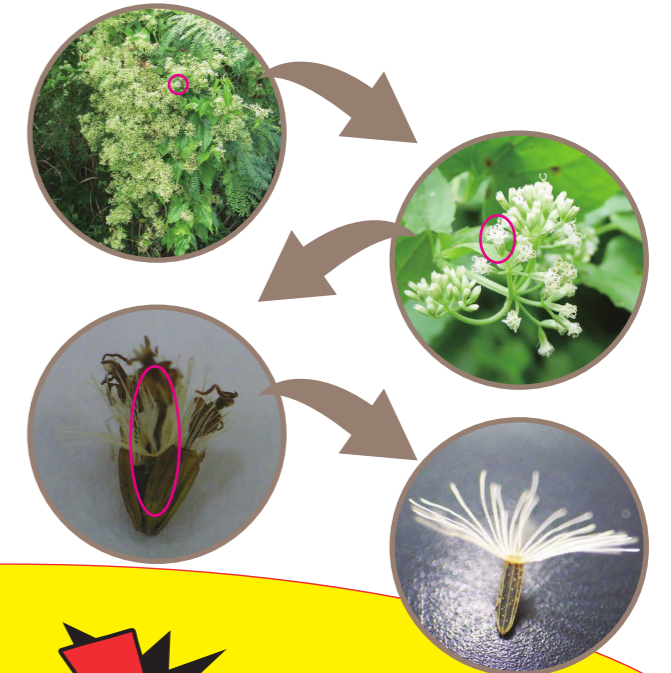
ツルヒヨドリの脅威的な繁殖力

つるは、一日で10cmほど伸びながら葉を広げていきます。折れたつるが地面に触れている場合、そこから根が出て増えていきます。種は綿毛を持っていて風によって遠くまで運ばれます。

一つの花から4~6個の種をつくります。一つの株は一年間で25m四方に広がり、多い時には40,000個の種を作ります。



▲元々あった植物を覆いながら猛烈な勢いで広がるツルヒヨドリ



ツルヒヨドリが1年間で広がる範囲(概念図)

どうすればいいの?

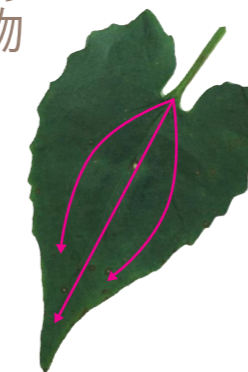
除去

防除時期は、花をつける前の11月までに行うことが望ましいです。それ以降だと種をつけ、種を飛散させてしまう恐れがあります。根茎を残すと容易に再生してしまうため、可能な限り丁寧な抜き取り作業を行う必要があります。

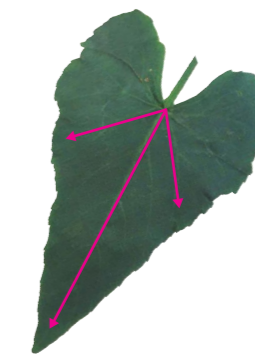
やむを得ず種がついている時期(1月頃)に防除を行う場合は、飛び散らないよう種を先に取り除くなどしてください。また植物そのものはもちろん、ツルヒヨドリの根や種子を含む土砂を他の場所に移さないよう注意してください。

よく似た葉をもつ在来植物

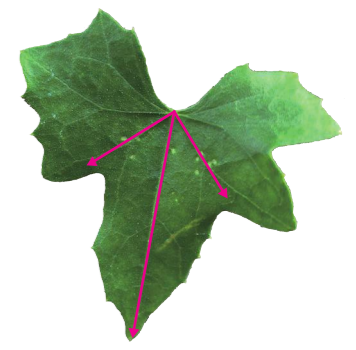
どれもよく似た葉で、縁がギザギザしています。葉脈の入り方が見分けのポイントになります。



ツルヒヨドリ



ツルドクダミ



クロミノオキナワズズメウリ